

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01207帯広市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
01207帯広市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	月45時間超の教員の割合は小学校で13.3%、中学校45.9%となり、令和2年度と比較して改善されているものの、4割以上の教員が月45時間を超えており、目標とは一定の乖離が生じていることから、引き続き教員の負担軽減を推進する必要がある。	教員一人一人が、「変わってきた」と実感できる働き方改革を推進するため以下の5項目を中心に取り組む。 (1)校務の効率化と役割分担の推進 (2)部活動指導に関わる負担の軽減 (3)学校運営体制の見直しなどによる改善 (4)意識の変容を促す取組 (5)学校サポート体制の充実	教職員の働き方改革推進プランに基づき下記の取組を進めた。 ①専門スタッフ等の配置による支援 ②ICTに関する環境整備等 ③コミュニティ・スクールの導入 ④校務支援システムの導入 ⑤留守番電話の導入	教職員の働き方改革について、保護者や地域住民の理解を促進するとともに、コーディネーターのスキル向上を図ることで地域との協働が進み、教育職員の負担が軽減する。	市立学校の教育職員に係る超過在校等時間の状況	小学校27 中学校42	時間	45	小学校(義務教育学校前期課程)21 中学校(義務教育学校後期課程)37	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた ・すべての市立学校で学校運営協議会を開催した。 ・コーディネーター等を対象として、地域コーディネーターのスキル向上に係る養成講座を3回開催した。 ・保護者や地域住民の理解が進んだため、地域学校協働活動が推進され、時間外勤務の是正に寄与した。 ・次年度は、引き続き学校運営協議会の理解を進めるとともに、地域協働活動の核となるコーディネーターの発掘、スキル向上を目的とした研修会を重点的に行う。